

今秋 9 月から、米国ワシントン州 University of Washington の Henry M. Jackson School of International Studies で在外研究を開始しました。

ワシントン大学があるシアトル市はアメリカ西海岸北西部の主要都市で、市内・周辺都市をあわせて人口は約 350 万人、アジア系住民が多い地域です。シアトル都市圏にはマイクロソフト・アマゾン・スターバックスなどの本社があり、日本でも知名度の高いシアトル・マリナーズの本拠地です。また、シアトル周辺の観光地であるレーニア山が日本でコーヒー飲料の容器に描いてあったり、日本でも人気のスターバックスやタリーズの本社があったりと、コーヒーの産地でもないのにコーヒーが特産物のようなイメージになってしまっている気がします。

ワシントン大学は 1861 年に開校した州立の総合大学です。現在のキャンパスはアラスカ・ユコン太平洋博覧会(1909 年開催)の跡地を使用しているため、学内には円形の池を中心にした西洋庭園があり、キャンパス中央部の広場から池に向かう通路の延長上にはレーニア山が見えるように設計されています(写真写りがよくないですが、右側の写真に山が見えるでしょうか)。



右下がいま在籍している Jackson School の建物の写真です。政治学ではなく地域研究の大学院で、世界各地の研究を行う学科があり、様々な国からの学生・研究者が在籍しています。大学では上崎先生の知人の方が Law School に在外研究に来ていたり、東アジア図書館(大学の施設)のスタッフに出口先生の同級生の方がいたり、不思議なところで法学部と関係がつながっていて、そのせいもあるのか外国に来たということをそれほど強く感じないままに現地で生活しています。

現在は英語の練習をかねて大学院のゼミや大学内の講演会などに出席しつつ、自分の研究を進めています。

